

令和3年度 自己評価・学校関係者評価公表シート

作成 都島中野幼稚園

1. 本園の教育目標

「明るく元気に 心身共に健やか で何事にも意欲をもって挑戦することができる子ども」
「自分で感じ考え 行動できる子ども」 を教育の目標とし、日々の保育に取り組む。

○子どもたちが、五感を通して感じ・考えることを大切に、“幅広い体験”を重視し、調和の取れた豊かな教育を目指している。

○子どもたちの健やかな心身の成長を願い、食育に力を入れ、安心安全な食材の提供、食育指導などに取り組んでいる。

2. 令和3年度、重点的に取り組んだ目標・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
安全管理	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施する 園内環境を整える。 保育、行事内容を工夫する。・防火・防災・防犯について、各場面を細かく想定しながら避難訓練を実施する。・園舎や遊具の危険個所の点検、補修、環境整備を行う。 <p>取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none">・感染拡大予防のための殺菌、消毒用品の充実と保育環境の整備。・月毎の火災・地震・津波などの災害や不審者対応などの避難訓練。・年2回保護者の方と一緒に園児の引き渡し訓練実施。・交通安全指導の実施。・専門業者により園庭の遊具安全点検を行い、大型総合遊具の塗装、ネット張替やパネル取り換え工事を行った。あわせてトンネル遊具の張替工事を実施した。 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none">・建物内の風の流れを工夫して密を避け、環境を整え、園内での大きな感染拡大もなく過ごすことができた。・遊具の補修工事により園庭が明るくなり、安全に外遊びを楽しめるようになった。・避難訓練は今後も場面ごとに園児がわかりやすい内容を工夫して継続して続けていく。・次年度も安全な登降園のために、交通安全の訓練と危険を防ぐためのわかりやすい指導を工夫し実施していく。
教育内容の充実	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症予防するために保育内容を1つずつ検討する。 場面に応じて必要な行事や保育を行っていただける様に工夫する。・毎月の課題をきめ、子どもたちが考え行動することで正しい生活習慣を身につける。・考える力を育てるための体験や遊びを工夫し、一人ひとりの持っている力を伸ばしていく。・体幹を育てる運動や遊びを継続してつづける。 <p>取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症拡大状況にあわせて、保護者の方に協力のもと、対策をとりながら一つひとつの行事を行っていただくことができた。・具体的な目標にむかって努力することで、必要な生活習慣を身につけることができるようになった。・体育遊びや科学遊び、自然に触れる遊びを工夫して、できるだけ幅広い体験の機会をつくり、楽しく過ごすことができた。

	<p>評価</p> <p>簡略化した内容もあったが多くの課程を実施することができた。反省点をもとに次年度もさらに充実した活動ができるようにつなげていくために、これまでの保育内容を思いきって考えなおすよい機会となった。</p>
子育て支援	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度開催が難しかった親子登園の内容や回数をできるだけ元に戻し、未就園児の育児支援や、保護者との親睦を深める場となる様に実施する。 必要とされる園児と地域の未就園児の保護者に対し、キンダーカウンセラーの案内を行い、不安を抱える保護者に対し積極的に育児支援にとりくむ。 預かり保育の内容や保護者が利用しやすいシステムを工夫する。 <p>取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 未就園児親子登園の回数や内容をできるだけ以前の状態に戻る様につとめた。 教員は必要な研修に積極的に参加して、支援できる体制づくりをした。 預かり保育の申し込み方法や内容を工夫した。 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常時の親子登園はできるだけ内容を充実させたが、まだまだ大きな行事への参加ができなかったため、次年度の工夫が必要である。 預かり保育の煩雑さは少しずつ解消していったが、申し込み方法の簡略化などの問題がのこっている。

3. 学校評価の具体的な計画の総合的な評価結果

<p>昨年からの問題点を改善できる様に、教職員一同が相談しながら保育や行事にとりくむことができた。</p> <p>突然の自然災害や病気、事故などに対しても子どもたちが身を守ることができる力をつけることができる様にあらゆる場面を想定して引き続き、防災や防犯訓練などを継続して実践していく必要を感じている。今後も子どもたちの成長に必要な活動ができる様、協議を積みね、研修に参加しながら努力する。</p>

4. 次年度に取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を引き続き実施していく。子どもたちが自ら行えるための工夫をする。 園内の安全点検の実施と危険個所の補修を引き続き定期的に行う。 <ul style="list-style-type: none"> 園庭での雲梯と鉄棒周辺の安全対策にかかわる改修工事を行う。 外階段と廊下の雨風よけ工事を行う。 毎月の防災、防犯、避難訓練の内容を充実する。 旗別登降園のために交通安全の訓練と危険を防ぐためのわかりやすい指導を行う。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 預かり保育内容をさらに充実する。 親子登園内容の向上と未就園児保護者対応の育児支援を行う。
教育内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の目標を設定し、個々の力を伸ばすために、保育内容をさらに充実させていく。 自己表現力をのばすことができるための絵画・造形指導内容になるように、月の特別指導の見直しと、通常講師の他にイラストレーション専門講師による表現方法の指導を実施する。 収穫体験、クッキング、植物栽培、科学遊び・木工制作などできるだけ多くの機会をつくり、自分で考えるための指導をする。 体幹を鍛える指導も引き続き実施する。

5. 学校関係者の評価

感染症拡大のため、毎年行っていた行事内容が縮小されたり保護者参加が限られたことは残念であるが、保育内容や行事を減らすことなく実施できたことで、子どもたちが楽しい一年をすごせたと考える。今後とも一人ひとりの子どもたちを大切に、その一年を過ごすことができる様に保育にあたってほしい。少子化が進む中、園児だけでなく、育児支援を行い、全ての子どもたちが心身ともに健やかに成長していける様に努めることを希望する。

6. 財務状況

公認会計士監査により、「適正に運営されている」と認められている。